

二国間交流事業 共同研究・セミナー 令和4(2022)年度 委託費積算内訳

事業名	相手国: 中国 (振興会対応機関 NSFC)
課題番号	JPJSBP XXXXXXXXX
日本側代表者所属機関	〇〇大学
日本側代表者氏名	学振 太郎

費目	金額(円)
外国旅費	440,000
国内旅費	751,500
物品費	185,000
人件費・謝金	45,000
その他	78,500
委託費計	1,500,000

- ・各費目の合計欄の金額は様式1実施計画書の「11.当該年度委託費」の費目ごとの金額と一致するようにしてください。
 ・作成に当たっては、事務取扱の手引4-3、4-4表3を確認してください。
 ・共同研究については、「外国旅費」及び「国内旅費」の合計が、当該年度委託費合計額の50%以上となるようにしてください。

1. 外国旅費

内容等	単価	回数	金額(円)
日本国側参加者渡航費(研究打ち合わせ)	80,000	2	160,000
第三国開催の口■学会での研究成果発表	120,000	1	120,000
日本国側参加者渡航費(フィールド調査)	80,000	2	160,000
合計			440,000

複数人が同時に渡航する予定の場合は1回の渡航の合計額を単価としてください。

渡航回数を記載してください。

2. 国内旅費

内容等	単価	回数	金額(円)
相手国側参加者滞在費(実験)	691,500	1	691,500
〇△学会(京都)での研究成果発表	60,000	1	60,000
合計			751,500

複数人が同時に出張する予定の場合は1回の出張の合計額を単価としてください。

出張回数を記載してください。

3.物品費

品名等	単価	数量	金額(円)
細胞培養器具	25,000	1	25,000
生化学試薬	12,000	5	60,000
合成用試薬	50,000	2	100,000
合計			185,000

4.人件費・謝金

内容等	単価	時間数等	金額(円)
データ整理	1,500	30	45,000
合計			45,000

・「単価」欄には時間給や1回の謝金の単価などを記入し、「時間数等」欄には謝金支給時間数又は回数を記入してください。

5.その他

※不課税取引・非課税取引に係る消費税は **委託費から支出(下記記載のとおり)**

内容等	単価	金額(円)
会議費(会議費借料)	20,000	20,000
会議費(コーヒー)	500	10,000
不課税取引・非課税取引に係る消費税	48,500	48,500
不課税取引・非課税取引に係る消費税を「委託費から支出(下記記載のとおり)」を選んだ場合は計上してください。 なお、外国旅費と人件費・謝金の和の10%を超える額の計上がある場合は内訳を確認させていただくことがあります。		
合計		78,500

不課税取引・非課税取引に係る消費税について該当する選択肢を選択してください。

・謝金や外国旅費などの不課税取引や非課税取引に係る消費税相当額を、本委託費から支出することが可能です。必要に応じて所属機関の経理担当者にも確認の上、「5.その他」に計上してください。免税事業者である場合は、消費税相当額を計上することはできません